

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	視能検査学Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	3年	学期及び曜時間	後期	教室名	1001教室
担当教員	家形富恵				
実務経験と その関連資格	視能訓練士として湖崎眼科で13年間勤務。小児眼科、緑内障、角膜疾患、網膜疾患と多岐にわたる専門領域の医師の下、弱視・斜視診療を中心に、検査全般に従事。 現在も複数のクリニックで、指導や後輩育成に携わる。日本弱視斜視学会会員。				
《授業科目における学習内容》					
国家試験に向けて、斜視の検査、両眼視機能検査、眼球運動検査など、臨床現場で実際に行われる検査を踏まえながら復習を行います。斜視の各型についての理解を深めるとともに、斜視の診断や麻痺筋の特定を理論的に考え、検査を行うための思考力を養います。また、復習課題として国家試験過去問題を活用し、理解度を確認します。					
《成績評価の方法と基準》					
学期末定期試験 80% 平常点 20%(小テスト 課題提出点など)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
国家試験過去問題 「視能学第3版」文光堂 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」医学書院 など					
《授業外における学習方法》					
授業ごとに出す課題(国家試験過去問題)は、単に問題を解くだけではなく、答えを導き出すための考え方を深く理解することを目的としています。分からない問題については、教科書を活用して調べ、考え方や解答の根拠を踏まえて解説を記述してください。					
《履修に当たっての留意点》					
学生同士で意見を交換しながら学ぶ機会は、自分の考えを広げ、より深い理解につながります。事前・事後学習を通じて、自分で考える力を育むことも重要です。また、不明点があれば積極的に質問し、解決しようとする意識を持って取り組んでください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	斜視の定義を通じて眼位検査を復習し、各検査方法の手順や特徴について理解を深める。	「視能学第3版」pp.320-336,pp.364-365「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.131-133,pp.140-145,p.149,p.232	特になし	
	各コマにおける授業予定	・斜視の定義 ・眼位検査 ・回旋偏位の測定法			
第2回	授業を通じての到達目標	両眼視機能検査を復習し、知識を整理・深める。	「視能学第3版」pp.347-359「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.114-124	課題(国家試験過去問題)	
	各コマにおける授業予定	・大型弱視鏡検査 ・立体視検査			
第3回	授業を通じての到達目標	両眼視機能検査を復習し、知識を整理・深める。	「視能学第3版」pp.359-364「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.125-131	課題(国家試験過去問題)	
	各コマにおける授業予定	網膜対応検査			
第4回	授業を通じての到達目標	斜視の格型を復習し、知識を整理・深める。	「視能学第3版」pp.368-371「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.234-236	課題(国家試験過去問題)	
	各コマにおける授業予定	内斜視			
第5回	授業を通じての到達目標	斜視の格型を復習し、知識を整理・深める。	「視能学第3版」pp.371-374「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.233-234	課題(国家試験過去問題)	
	各コマにおける授業予定	外斜視			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	斜視の格型を復習し、知識を整理・深める。	「視能学第3版」pp.374-377「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.237-241	課題(国家試験過去問題)
	各コマにおける授業予定	・交代性上斜位 ・A-V型斜視 ・微小斜視 ・偽斜視		
第7回	授業を通じての到達目標	麻痺性斜視について復習し、知識を整理・深める。	「視能学第3版」pp.378-382「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.253-258	課題(国家試験過去問題)
	各コマにおける授業予定	核・核下性眼球運動障害		
第8回	授業を通じての到達目標	斜視特殊型について復習し、知識を整理・深める。	「視能学第3版」pp.383-390「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.261-271	課題(国家試験過去問題)
	各コマにおける授業予定	・重症筋無力症 ・慢性進行性外眼筋麻痺、ミトコンドリアミオパチー ・甲状腺眼症 ・sagging eye syndrome ・固定内斜視		
第9回	授業を通じての到達目標	斜視特殊型について復習し、知識を整理・深める。	「視能学第3版」pp.391-395「視能学エキスパート視能訓練学第2版」p.259,pp.263-265,p.269	課題(国家試験過去問題)
	各コマにおける授業予定	・Brown症候群 ・外眼筋線維症 ・Duane症候群 ・機械的斜視		
第10回	授業を通じての到達目標	眼球運動検査の種類と方法、その目的を理解し、麻痺眼や麻痺筋を判断できるようになる。	「視能学第3版」pp.337-344「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.145-146,pp.151-152	課題(国家試験過去問題)
	各コマにおける授業予定	・眼球運動検査の順序 ・Hess赤緑試験 ・Parks三段階法		
第11回	授業を通じての到達目標	眼球運動検査の種類と方法、その目的を理解し、麻痺眼や麻痺筋を判断できるようになる。	「視能学第3版」pp.339-346「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.123-124,pp.146-149	課題(国家試験過去問題)
	各コマにおける授業予定	・眼性頭位異常 種類と鑑別 ・注視野検査 ・牽引試験 ・大型弱視鏡 検査結果と判定		
第12回	授業を通じての到達目標	眼振についてを復習し、知識を整理・深める。	「視能学第3版」pp.456-459	課題(国家試験過去問題)
	各コマにおける授業予定	・分類 ・種類		
第13回	授業を通じての到達目標	眼振についてを復習し、知識を整理・深める。	「視能学第3版」pp.460-462	課題(国家試験過去問題)
	各コマにおける授業予定	・特徴 ・治療		
第14回	授業を通じての到達目標	科学的根拠を正しく理解し、それに基づいて解答を導き出せるようになる。	国家試験過去問題「視能学第3版」「視能学エキスパート視能訓練学第2版」	課題(国家試験過去問題)
	各コマにおける授業予定	症例問題①		
第15回	授業を通じての到達目標	科学的根拠を正しく理解し、それに基づいて解答を導き出せるようになる。	国家試験過去問題「視能学第3版」「視能学エキスパート視能訓練学第2版」	課題(国家試験過去問題)
	各コマにおける授業予定	症例問題②		